



—東地中海地域ニュース—

イラク・トルコ：トルコ議会クルド・ブロック代表団のスレイマーニーヤ訪問
(9月16日付アッシャルクルアウサト紙他)

16日付アッシャルクルアウサト紙およびアスワート・ル・イラク通信、17日付タアーヒー紙は、トルコ議会クルド・ブロック代表団のスレイマーニーヤ訪問について報じている。概要は次の通りである。

1. 9月15日、トルコ議会のテュルク・クルド民主社会党党首を団長とする同党の国会議員及び地方自治体の長からなる代表団が、PUK（クルド愛国同盟）の招待によりイラクのクルディスタン地域を訪問し、スレイマーニーヤに到着した。テュルク党首は空港到着後直ちに、スレイマーニーヤ市内でタラバーニー・イラク大統領、及び PUK 幹部との会談を行った。

尚、PUK 公式 HP によると、本代表団はクルディスタン地域の責任者たちと会談し、トルコにおけるクルド問題解決に関するトルコ政府の「民衆的イニシアティブ」を説明する目的で来訪した。

2. テュルク党首によるスレイマーニーヤ空港到着時の声明(概要)

(1) 今日、我が祖国で、同胞に囲まれて、自分は幸せを感じる。ギュル・トルコ大統領及びエルドアン首相が平和的手段によるクルド問題解決のため極めて重要なメッセージを送っており、トルコにおけるクルド問題を処理するのに適した雰囲気を整ってきているのは喜ばしい。我々は、クルド問題は対話、交渉、平和的手段によってのみ処理されると信じている。

(2) 今回の訪問目的は、クルド和平プロセス強化のため、クルディスタン地域の同胞たちに支援を求める為である。我々、トルコにいるクルド人は、和平実現の誠意が（トルコ政府に）あるのならば、PKK との交渉開始を公式に発表することが望ましいと確信している。オジャラン PKK 党首が提起した和平へのロードマップ案は極めて重要であり、クルド人の希望と権利を相当程度具現している。武器を捨てることが必要であれば、真剣に開かれた精神で同案に取り組むことが望ましい。

3. バルザーニー・クルド地域 (KRG) 大統領との会談 (9月16日)

(1) 両者は、トルコのクルド人問題の平和的解決及び最近の中東情勢の進展について協議した。双方は、地域における平和定着に通じる大きな機会があり、これを活用する必要性

を確認した。双方は、公正発展党（AKP）及びトルコ政府がトルコのクルド人に対して開放的になっているとし、トルコにおけるクルド人問題の前進に楽観的な見方を示した。

- (2) バルザーニー・KRG 大統領は、トルコのクルド人が、この歴史的な機会を活かすよう希望する、トルコ国民及びトルコ人を構成する各要素が平和的手段によるクルド問題の解決の必要性に納得しているのは喜ばしい。このような AKP 及びトルコ政府の方向性を我々は支持し、全力で支援すると述べ、他のクルド系政党にこの流れを支持するよう呼びかけた。又、同大統領はクルド人の存在の否定による問題解決は不可能である、過去数年間にわたる経験に照らすと軍事的解決は無理であり、理想的且つ現実的な選択肢は、対話と相互理解を通じての解決であることが証明された旨を述べた。